

第四章

資 料

資料

【松江市教育委員会作成資料】

(1) 「小中一貫教育」で育む松江っ子	P54
(2) 子どもの生活習慣確立に向けた全体構想	P56
(3) 電子メディアのスイッチ	P58
(4) すくすく子育て手帳（三歳児健診配布）	P60
(5) だんだんファイル	P68
(6) 就学及び相談の流れ	P73
(7) 図書館活用事業	P75
(8) 親学紹介	P77

(1) 「小中一貫教育」で育む松江っ子 ※保護者向けパンフレットより

「小中一貫教育」で育む松江っ子

～学校・家庭・地域がつながりあって～

ま 毎日、早寝・早起き・朝ごはん

つ 机に向かおう おうちでも

え 笑顔のもとは、家族とのお話し

つ つながって見守るおとの目の

こ 個の力じっくり伸ばす 教育で

小・中学校が共同して育みます

幼稚期から義務教育9年間を見通し、子どもたちの発達段階に応じた教育の充実を図ります。



(学校教育)

確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和の取れた児童生徒の育成



(幼稚期)
遊びを通しての学び



小学校と中学校の教職員
が同じ目線で

地域で支えます

子どもたちは、通学の見守りや環境整備、
学習支援など地域に支えられて育ちます



放課後子ども広場



登下校見守り
あいさつ運動



校庭の芝生化事業

幼稚期から前期（小学校1年生～4年生）

中期

視線を交えて、子どもの話をしっかり聞きましょう

家庭学習の約束やルールを家族で話し

家庭では

★身につけさせたい、「基本的生活習慣」

- ・寝る時刻と起きる時刻を決めましょう
…まずは早寝、早起きから
朝の光をいっぱいに浴びて起きましょう
- ・朝のスタートリストを作りましょう
…洗顔、歯磨き、着替え、排便
- ・朝食はしっかり食べさせましょう
…脳と体のエネルギー源
- ・テレビやゲームの時間は決めましょう
…1日2時間までにしましょう
幼稚期は実体験を大切に

学年に応じた「家庭学習の習慣」と「読書習慣」

わたしは、1年生になったから、1日に20分は机にむかうよ。



ぼくは4年生だから、学年×10分+10分で、1日50分は勉強にチャレンジだ。

1～4年生の子どもにとって、学習を習慣化することが大切です。家庭でも、毎日、決まった時間に決まった場所で学習するところから始めましょう。

夢に向かって

なぜ、今「小中一貫教育」なのか

○子どもたちをとりまく社会環境の変化とそれに伴う教育諸課題に対応

○6・3制では対応しきれない子どもたちの心身発達度の変化に対応

少子化、情報化等による社会環境の急激な変化の中、教育をめぐっては学力や不登校、いじめなど多くの課題が指摘されています。子どもたちの生活習慣や学習習慣の形成、思考力・表現力の育成など、子どもたちの健やかな成長を図るためにには幼児期から小中学校9年間を見通し一貫した教育を推進すると共に、学校・家庭・地域が協働した地域ぐるみの教育を推進していくことが必要不可欠となっています。



地域で学びます

小学6年生の
中学校体験学習
部活動体験

子どもたちは地域の「人」や「ものごと」との
かかわりを通して、学びを深めます

小中学生と保護者や地域
の方々、みんなの力を合
わせた地域の清掃活動



環境整備ボランティア



学習支援ボランティア



中学校での楽しみは部活
だけど、読書も大好き。
中学になったら、「宿題」
に加えて「予習・復習」の
習慣が大切だから計画的
に取り組んでるわ。



熱中して取り組んだことが、
今の自分の集中力やがんばる
力につながってると思うよ。
中3になってからは、1日2
時間は家庭学習をしているよ。



地域の特色を生かした
体験活動



(小学校5年生～中学校1年生)

後期（中学校2・3年生）

合って決めましょう

子どもの思いに寄り添いながら親の思いや願いを伝えましょう

★親として心がけたいこと

○手伝いをさせましょう

人の役に立つ喜びを、小さいときから育てましょう

○機をとらえて良い姿を見つけ、ほめましょう

子どものやる気や自信につながります

○家族や地域の方へあいさつをさせましょう

あいさつは、人と関わる力を育てる基盤です

○親が手本を示し、ルールを教えましょう

子どもは親（おとな）の背中を見て育ちます

子どもの生活習慣確立に向けた全体構想

子どもたちに育てたい力

主体的に伝え合い学び合う力
自分をコントロールする力

情報活用する力

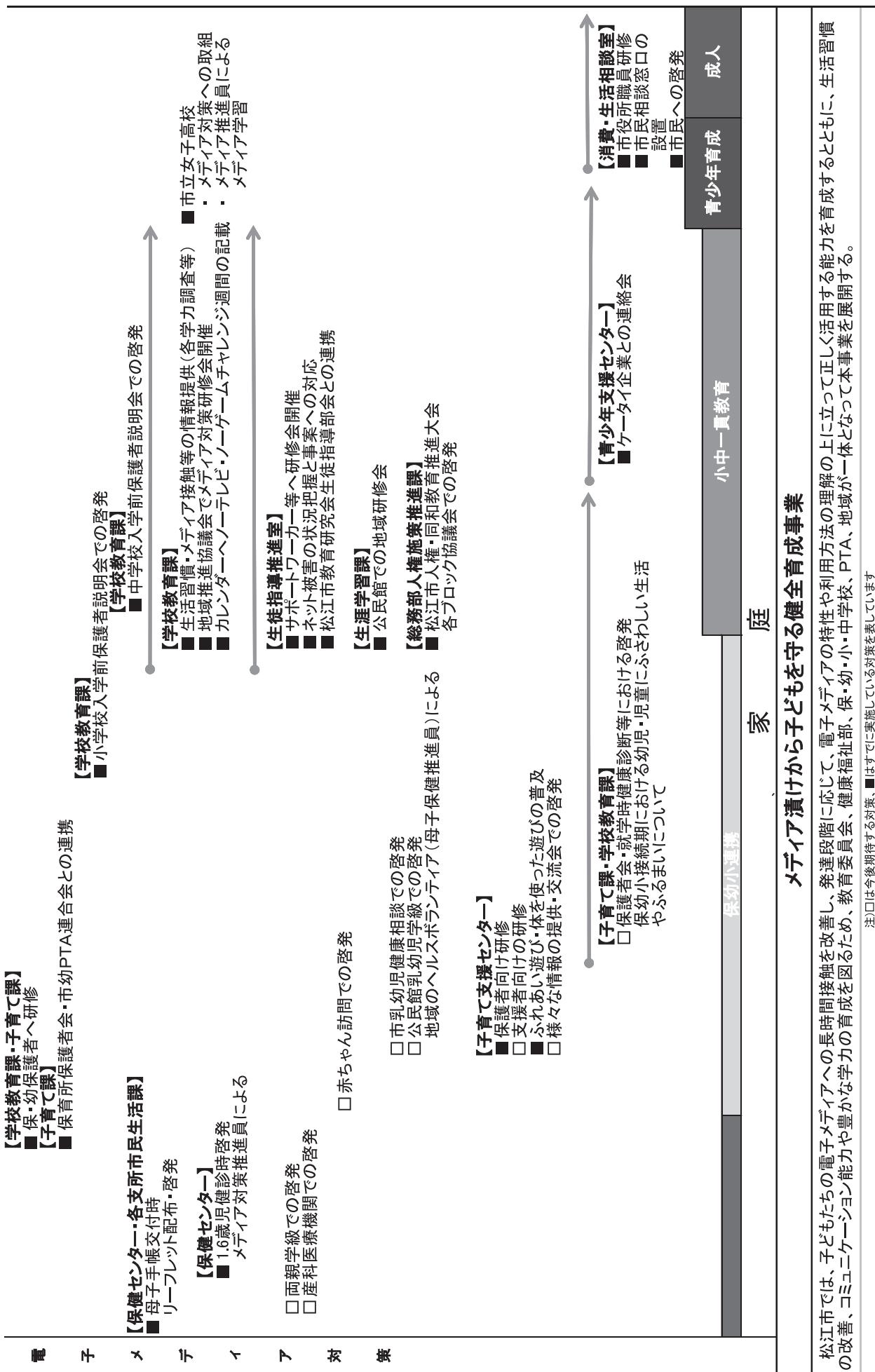
健康で自立し 共生する市民

生活習慣の確立・社会性の育成

胎児(ケレハ・フレマ)	乳児	幼児	児童	生徒	青年	成人
適切な運動	0歳～	3歳～	6歳～	13歳～	16歳～	20歳～
適切な運動	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の指導 日常生活の中で意識的に身体を動かす 	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の指導 <ul style="list-style-type: none"> 外遊びを取り入れ、身体を使つて遊ぶ大切さを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の指導 <ul style="list-style-type: none"> スポーツの楽しさを知り、身体を動かす習慣を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の指導 <ul style="list-style-type: none"> 運動の喜び、楽しさを理解する 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の指導 <ul style="list-style-type: none"> 食事の喜び、楽しさを理解する 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける 	
調和のとれた食事						
十分な休養・睡眠						
人とのかかわり						

【学校教育課】
 ■メディア推進員による保育所職員研修
 ■保育センターによる幼稚園・保育園・幼稚園教員へのメディア学習
 ■メディア推進員による幼稚園教員研修
 ■メディア推進員による幼稚園教員へのメディア研修
 【子育て課】
 □保・幼における取組の調査・実践例の紹介
 ■市PTA連合会メディア対策委員会との連携

【学校教育課】※但し、幼稚園・保育園(所)も含む
 ■メディア推進員による小中児童生徒へのメディア学習
 ■情報モラルの実践集の作成・配布
 ■市PTA連合会メディア対策委員会との連携
 ■メディア推進員研修会



(3) 電子メディアのスイッチ

「オフにしよう メディアのスイッチ」「オンにしよう 家族の絆」

メディアとは？ ここでの「メディア」とは、テレビやDVD、ゲーム、パソコン、ケータイなど電子メディアのことを指しています。



加速化する情報社会で生きる子どもたちには、情報を活用する能力と、情報に囲まれることなく自分で考え、使い方をコントロールし、より良い生活を築く力の育成が一層求められています。0歳から15歳まで、発達段階に応じた電子メディアとの向き合い方を考えていきましょう。

0歳～2歳までの時期

- ★テレビに子守りをさせていませんか？
- ★目と目を合わせて、たくさん語りかけましょう。
- ★一日一回、子どもとニッコリ笑う時間を！
- Q：赤ちゃんはテレビが好き？



A：いいえ、光と音に反応しているだけです。長時間テレビを見ることが“ことばの遅れ”と関係しているという報告もあります。

Q：おっぱいの時間が私のケータイとテレビの時間なんです…。

A：授乳の時、赤ちゃんと目と目を合わせて、語りかけてあげて！赤ちゃんは、だんだん「アーッ」「ウー」など声を出すようになります。自分から相手に投げかけたことが伝わり、相手がそれに応えてくれるといったやりとりが、コミュニケーションの始まりです。そばにいてお世話をしてくれる人との関わりを通して、赤ちゃんが「この人は自分を理解してくれる。」という安心感をもつことが愛情の形成につながります。

Q：どうしても寝かしつけるのが10時以降になってしまいます。



A：『寝る子は育つ！』子どもの成長に重要な成長ホルモンは、夜寝ている時にたくさん分泌されます。

3歳～6歳の時期

- ★テレビが友達になっていませんか？
- ★顔と顔！目と目を合わせてぬくもりの伝わる会話を！
- ことばを獲得する大切な時期です。



Q：テレビを消すと、何をしたらいいかわからないんです。

A：音や映像の入ってこない子どものぼんやりした時間は、自分で遊びをみつける大切な時間でもあります。そこから会話も生まれてきます。

Q：テレビを見ていてくれると家事をする時安心なのでつい…。



A：自分で遊べる遊びをみつけましょう。ままごと、粘土、塗り絵、お絵かきなど。お手伝いも子どもにとっての遊びになるよう工夫してみませんか。

Q：休日もなかなか遊んでやれなくて…。

A：忙しい時は、一日のどこかで子どもと付き合ったり一言声をかけたり、抱っこするだけでもいいですよ。外で遊べない時は、肩車やじゃれつき遊びを楽しみましょう。子どもにとって最高の遊び場は、親の身体です！

小学校 1 年～4 年の時期

- ★「人が好き」「遊びが好き」と言える子どもを！
- ★人としての心を育てるのは人！電子画面ではありません！



Q: 遅くまでゲームやってるから朝、起きてこなくて…。

A: 夜のテレビやゲームは、興奮して寝つきが悪くなります。朝は 6 時半に起きる習慣を！子どもにマイ目覚まし時計をプレゼントしてみませんか。

Q: 「ゲームをやめて何をしたらいいの？」と言うんです。

A: しっかり遊びましょう。例えば、外遊び(けんけんぱ かくれんば 鬼ごっこ ゴムとび 警ドロ) 室内遊び(トランプ 将棋 おしゃべり 読書 あや取り)それから…。

お手伝い(お風呂掃除 洗濯物たたみ お料理)家族の一員としての「しごと」をもっとさせましょう。子どもの脳が発達し、集中力がアップします。

小学校 5 年～中学校 3 年の時期

- ★メディア接触をコントロールする力を！
- ★家族こそ人間フィルタリングに！困った時、親に相談できる親子関係こそ子どもを被害から守ります！



Q: 中学生になっても、テレビや DVD を見る時間が長いんです。

A: 見るな！ではなく、一日、一週間のメディアスケジュールを家庭で相談して決めましょう。

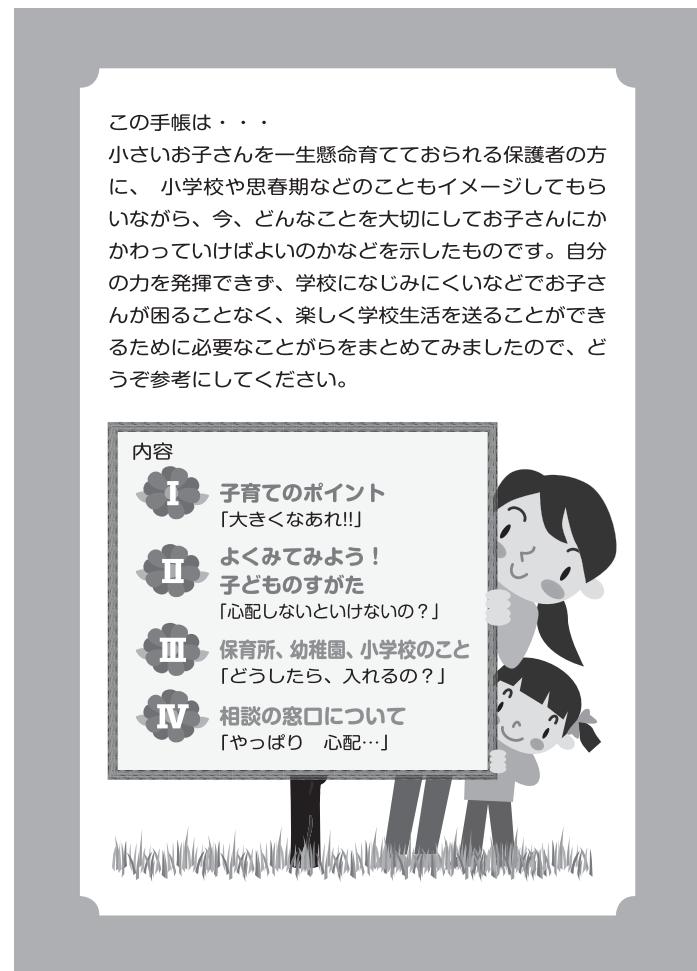
Q: 子どもがケータイを欲しがってねえ…。

A: ケータイが本当に子どもに必要かよく話し合って怠ってみましょう。どうしても持たせるなら、ケータイは、親の所持品であるという認識に立って管理していきましょう。金銭的、社会的、法的な責任は、子どもではなく親にかかるべきです。

Q: ケータイが気になって家庭学習に身が入らないんです。

A: 学習中ケータイは、机に置かない。夜は、居間にケータイを置くといったルールをつくりましょう。

資料提供: 松江市教育委員会 メディア対策推進委員会



I 子育てのポイント

おうちの人だ~いすき!自分もだ~いすき!

感度良好のアンテナをはって

赤ちゃん期からの発声や、泣く、笑う、呼ぶなどの行動に対して、母親(母親的な存在を含めて)の愛情のあるよい反応のくりかえしが、子どもの人に対する信頼感をつくります。

♥子どもの声や表情を真似し、赤ちゃんの頃からのことば以外のコミュニケーションを楽しみましょう。

抱っこで気持ちの伝えあいを大切に

スキンシップは心の安定に影響します。

♥一人ひとりの子どもの心を満たすスキンシップはそれぞれ量が違います。積極的に体で愛情を示し、子どもの心を十分に満たしてあげましょう。

子育てのポイント

つながりを感じ安心して外の世界へ

身近な人と心のつながりをつくることで、家の外の人やものごとに興味関心を持っていきます。そして、そのなかで、失敗や挫折にくじけず、人と協力し合うとする姿が育つのです。



♥しっかり話を聞く、思いに共感することが大切です。
♥絵本の読み聞かせなど、子どもとの時間を楽しみましょう。

「大切な自分」「できる自分」という思いをもたせて

子どもが、人を大切にし思いやりのある行動をするには、まず自分を大切にする気持ちを育むことが必要です。

♥子どもを毎日ほめましょう。ほめることをたくさん見つけましょう。そのためには、ほめるためのしきけを大人がつくってあげることが必要です。しきけ…ハードルの低い守れそうな約束をひとつ。
(家に帰ったら手洗い、単純なお手伝いなど簡単なことから)





赤ちゃんの頃から排泄はよいことだと思えるように

オムツ換えのとき、笑顔で優しく対応していますか？「汚い」「臭い」「嫌だ」というイメージをつけないようにしたいものです。

不快の感覚から快の感覚へ

サラサラの紙オムツでいると、いつまでも「気持ち悪い」という感覚が身につきにくいですね。お兄さん（お姉さん）パンツに切りかえるという思い切りも必要です。

トイレのイメージを大切に

一緒にトイレに入ったり、うんちの絵本を見せたりして、おしつこやうんちはトイレでするものとイメージができるといいですね。

失敗しても叱らないように

できる時期は個人差があるので、あせらないようにしましょう。

3

子育てのポイント

子育てのポイント

「早寝 早起き 朝ご飯」で元気もりもり！

適切な運動、調和のとれた食事、十分な睡眠に心がけましょう。



早起きが一日を決めます

早起きが習慣化されれば、一日の生活リズムが安定し、子どもの意欲的な行動につながります。

♥朝ごはんをしっかり食べ、エネルギーを取り入れることで体温をあげ、体を目覚めさせましょう。

早寝の大切さには理由があります

成長ホルモンは、夜12時頃にぐっすり寝ている状態でてくるという脳のしくみがあるのです。夜9時までには寝ておかないと、間に合わないのです。

♥大人が起きていれば子どもも一緒にいたいものです。子どもに合わせることは難しいですが、できるだけ一緒に布団に入るようにすると子どもの就寝のリズムができていきます。

4



友だちを見ることが勉強

友だちの様子をじっとみたり一緒に遊んだりする機会を作ってあげましょう。

♥公園や子育て支援センターなど子どもの集まるところへ行ってみましょう。



友だちのそばにいるだけからスタート

保育所、幼稚園に通う3～4歳頃は、友だちのそばに行き、一緒にいることが楽しくなる時期です。

5

子育てのポイント

子育てのポイント



「友だちと一緒に楽しい」と感じて

5～6歳頃は、友だちとの様々な体験の中で、思いの行き違いを乗り越えながら、社会性を身につけます。物事の善悪や、みんなと同じように行動することの大さがわかるようになります。

♥その時々に必要なルールがあることや、してもいいこと悪いことについて話して聞かせてあげましょう。

ケンカの場面に立ち止まって

ことばがまだうまく使えない時期、気持ちがコントロールできない時期には、手がでたり、足がでたりすることもあります。危険がない場合は、見守る場合もありますが、大人が間に入って止めたり、ケンカが「はじめよう」というタイミングでお互いの距離をつくってあげたりすることも必要です。

♥けんかは相手がいることですので、子どものトラブル後の保護者同士の会話は大切です。困ったときには、保育所、幼稚園の先生に相談してみましょう。

6

体を使った遊びが、脳も育てます！

運動や遊びが、体の芯しんをつくり、集中力をつけてます

小学校で座って学習するためには、姿勢を保持する力や集中力が必要です。その力は、体を支えたり、バランスをとったりする色々な運動や遊びの中で培われます。

ふれあい遊びから、バランス感覚と力加減を学びます

親子（ペア）でのふれあい遊びの中で、体のバランスのとり方や自分の力の入れ方がわかつてきます。信頼感や安心感の中で、楽しみながら体で学びます。

いろいろな動きが、脳の発育を促します

遊具で遊ぶとボディイメージが膨らみます。音楽に合わせて動くと調整力が育ちます。手遊びをすると操作性が高まります。…幼児期の遊びは脳もしっかり育てます。

♥例ええばこんな遊び…

- ・布団ででんぐり返り・両手をつないでくるりん
- ・膝の上で飛行機・じゅうたんでお馬さん・馬跳び
- ・お風呂でじゃんけん・畳で手押し車・ラジオ体操
- ・竹馬・お手玉・コマ回し・なわとび
- ・てつぼうなど



7

子育てのポイント

電子メディアオフ、家族のふれあいオン

乳幼児期は…

テレビが友達になっていませんか？音や映像の入ってこないほんやりした時間は、自分で遊びを見つける大切な時間です。少しでも子どもと付き合ってあげましょう。子どもにとって最高の遊び場は、親の体です。

小・中学生の時期は…

メディア接触をコントロールする力をつけましょう。また、家族こそ人間フィルタリングとなります。困ったとき、親に相談できる親子関係こそ、子どもを被害から守ります。「テレビ見るな！」ではなくスケジュールを家族で決める、「ケータイするな！」ではなく夜は居間に置くなどのルールを作りましょう。

松江市教育委員会 メディア対策推進委員会リーフレット「オフにしようメディアのスイッチ オンにしよう家族の絆」より一部抜粋



親子読書のすすめ *****

言葉の世界との出会いを大切に

子どもは、3歳頃になると、ある程度言葉を使って会話ができるようになります。また、おもいがけない言葉を発して周囲を驚かせたりもします。この頃から小学校低学年までは、言葉を吸収し、言葉でコミュニケーションをはかる能力が発達していく時期でもあります。この時期、どんな言葉に出会ったか、どれだけお話を楽しんだか、ということはその人の感受性に大きな影響を与えると考えられます。

島根県立図書館HPより

8

「学校」って？ドキドキワクワク！
ランドセルの準備もあるけど…

子育てのポイント

「義務教育」へむけて心の準備を

学校は、子どもたちが幼児期とは違う集団の中でルールやマナー、時間や約束を守りながら「学習したり」「友だちをつくったり」する小さな社会です。家族から一步離れた世界へ向けての心の準備をしっかりして、スムーズにスタートが切れるといいですね。

生活リズムを整えて

学校は、登校時間が決まっています。およそ8時頃までは学校に着くようになります。それまでにおうちでは、「起きて」「着替えて」「顔を洗って」「朝ご飯を食べて」「歯みがきして」「トイレに行って」「かばんを背負っていってきま～す」とやることはいろいろあります。あわただしい時間ですが、親も子もあわてずに自分でできることを増やしましょう。

点検しよう通学路

学校は、毎日同じ通学路を通って登校します。今から「ここを通って行くのかな」と見ておくといいですね。入学が近づいたら実際の時間に一緒に歩いてみて、安全のためのチェックもしておきましょう。

集団登校では、登校の班があり、班長さんもいます。「町内会」や「自治会」で「子ども会」の世話役の方を教えてもらって仲良くなつておくといいですね。

9

学校は小さな社会です。ストレスがいっぱい

学校という大きな集団では、自分の思い通りなることは少ないものです。子どもは、集団の中で自己主張をしながら、相手の考え方や思いに気づき、我慢をしたり、相手の気持ちを受けとめたりすることが求められます。

自分の考え方や思いが通らず、時にはストレスをかかることがあるかもしれません。しかし、そうした経験も社会性を育む上で大切なものです。

おうちは弱音が出せる場に

おうちに帰った時の姿が元気がないようであれば、まずは、学校であったことをうなずきながら聞いてあげましょう。うまくいかなかった話を聞いた時は、「今度は気をつけなさい！」と注意するよりは、「今後はうまくいくといいね！」と言ってあげるとよいかもしれません。失敗しようと思って失敗する子どもはいません。うまくいかなかった気持ちに共感し、励ましてあげましょう。



10

一年生になったら**親子で学習のスタートを**

小学校に入学すると教科の学習が始まります。学習への興味や関心を高めるために、親子で一緒に教科書を開いたり学校のことを話題にして話したりしましょう。また、宿題をみたり一緒に準備したりするなど、保護者の協力が子どもの意欲を育てます。



子育てのポイント

もうすぐ中学生**思春期の入り口で**

小学校高学年になると、外から自分をながめることができます。この反面、友だちとの違いも気になり劣等感を持ちやすくなる時期もあります。悩み事はおおらかに受け止め、良いところをしっかりほめましょう。



子育てのポイント

良いこと悪いことが分かる力を

このころからは、大人からの正しい教えを通して善悪についての理解と判断がしっかりとできるようになります。人を思いやる心や正しいことを行動にうつす力を育てたいものです。

親子の会話と感動を

いろいろなことをたずねてきたり、自分の話を聞いてほしがったりする時期です。子どもの話に耳を傾け、一緒に楽しんだり感動したりする機会をもち、社会性や感性の豊かな子どもに育てましょう。

なんでも先生に相談を

小学校では、担任とのやりとりは連絡帳を通してすることになります。しかし、子どもも保護者も分からぬことや心配なことがあるときは、連絡や相談をしましょう。

11

自分さがしの思春期・青年期**すなおになれない自分～親との関係が変わってきます**

親からの話をうとましく感じ、親との間に距離を置き秘密を増やしたい時期です。本人の考えを尊重したり、受け入れたりすることも必要です。



子育てのポイント

とまどいと不安に揺れ動きます

体と心の発達がアンバランスで、途ないと不安に揺れ動きつつも、大人には知られたくないという気持ちになります。「悩むことも大切」とことばを添えてあげましょう。

12

注意信号は、心や体や行動にあらわれます

「いらいら感」「ゆううつ」「疲れやすい」「眠れない」「引きこもる」「食欲不振」「登校渋り」などの注意信号を見逃さないようにしましょう。



♥思春期は親も不安になり、つい問いただす態度に出てしまうこともあります。子どもを信じて見守ることも大切です。心配が行き過ぎると子どもは心を閉ざします。子どもの心や行動に心配があれば、気軽に専門機関に相談しましょう。

友だちとのつきあいが変わってきます

親よりも友だちの言うことが大切に思える時期です。一方で、友だちや異性との関係に敏感で「人にどう思われているか」を気にするあまり、疲れることもあります。



13

14

II よくみてみよう！子どものすがた

こんなすがたが気になってしまませんか？

子ども自身の困りに目を向けましょう

子育ての中で子どもの行動について心配になることもでてくると思います。それらは、子ども自身の困りだととらえましょう。

例えば…

♠社会性についての困り

*視線が合いにくい *危険なことがわかりにくい

*かかわりが一方的 *急な予定の変更で混乱してしまう

♠コミュニケーションについての困り

*ことばでうまく話せない *ことばがつまる

*例え話の理解が苦手 *思ったことをストレートに口に出す

*質問とは違う答えを返し、会話が成り立ちにくい

♠想像力についての困り

*行動がパターン化している *特定のものにこだわる

*ものの考え方が直線的

♠体の動きや行動についての困り

*体の動きがぎこちない *不注意で転びやすい

*じっとしておらず、常に体が動いている *キレやすい

15

よくみてみよう！子どものすがた

♠感覚の過敏さについての困り

*大きい音やざわざわした場所が苦手

*手足が汚れたり、ぬれたりすることに抵抗が強い

*目に見えたものにすぐに向かっていく

♠友だち関係や集団活動での困り

*勝つことや1番に執着する *順番が守れない

*みんなで遊ぶことが苦手



♠学習の場面での困り

*字や絵をかくことが苦手 *聞き間違えが多い



見逃されがちな『発達障がい』

子どもたちの困りのすがたの中には、「発達障がい」を原因とする場合があります。「発達障がい」は、一般的にはわかりにくく、「わがまま」「マイペース」あるいは「しつけが悪い」などと見立てられやすいものです。個性とみられることがあります、本人の困りには早く気がついてあげたいですね。

気づかず、ただ叱ったり、無理やりその行動を修正したりすると、子どもはどう行動したらいいのかわからず迷うことになり、さらに困難な状態になってしまうことがあります。早めに相談し、適切な支援をすることが必要です。

16

幼児期の支援について

子どもの困りに気づいたら

一人で悩まないで相談してみましょう。

一人ひとりに応じた支援ができる場所があります。

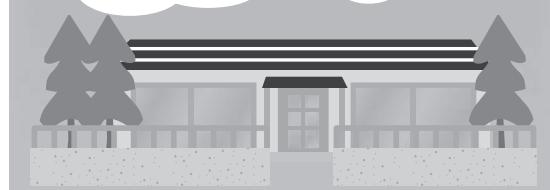
「特別支援幼児教室」について

週に1回2～5時間、幼稚園や保育園にある「特別支援教室」に保護者と共に通級し、子ども一人ひとりの興味や関心を手がかりにしながら、個別の指導や小グループ指導、学級集団の中で遊びを通して楽しく必要な力を身につけられるよう指導していきます。

対象は松江市在住の3歳～小学校入学前の子どもです。他の保育所、幼稚園などに在籍しながら通うこともできます。(保育所、幼稚園に在籍していないなくても通うことができます。)

幼児教室は、ここにあります！

- 母衣幼稚園 ○城北幼稚園 ○中央幼稚園
- 幼保園のぎ ○しんじ保育園 ○揖屋幼稚園



気づきがあったら…

発達障がいには、以下のように呼ばれるものがあります。

学習障がい (LD)

・知的な遅れはないけれど、話す、聞く、読む、書く、計算する、などの一部が極端に苦手である。



よくみてみよう！子どものすがた

注意欠如・多動性障がい (ADHD)

・年齢にふつりあいな不注意・衝動的な行動が多く、落ち着きなく多動である。

広汎性発達障がい (PDD)

・人の気持ちを理解したり、コミュニケーションをとったりするのが苦手で、必要以上にこだわりが見られる。

これらが原因で、人とのかかわりの中でのトラブルや社会生活上の様々な問題が起こる場合があります。

気になる場合は、乳幼児健診の場や保育所・幼稚園、そして発達・教育相談支援センター『エスコ』にご相談ください。

早期からの相談により、適切な支援の場や方法を見つけていきましょう。

(相談窓口一覧は、28～29ページに載せてています。)

17

18

「にこにこ教室」(エスコ療育)

発達障がいの子どもを中心に週1回エスコで、一人ひとりのニーズに合わせプログラムを作成し就学に向けて療育を行います。



子どもの興味関心を手がかりにしながら『コミュニケーション・社会性』『感覚・運動』『認知』『学習態勢』を中心に個別の療育や、4～5人のグループによる療育で発達を促します。

対象は松江市在住で保育所や幼稚園などに在籍している3歳～小学校入学前の子どもです。



よくみてみよう！子どものがた

よくみてみよう！子どものがた

「のべのべ講座」(家庭療育支援講座)

を開いています

♠子どもの発達上のさまざまな問題により子育ての難しさを感じている保護者を対象に、子どもとのかかわり方、楽しい子育ての仕方を講義やワークを通して情報交換や勉強をする会です。

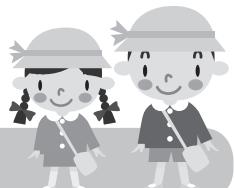
♠松江市在住で幼稚～小学校2年生の子どもの保護者が対象です。

詳しいことは発達・教育相談支援センター「エスコ」へお問い合わせください。

TEL 55-5455

19

III 保育所・幼稚園・小学校のこと



保育所・幼稚園の入園について

Q：保育所(園)、幼稚(保)園へ入園したいのですが、どうしたらいいですか？

A 1：保育所(園)については

- 年間を通して……入所希望月の前月の15日
- 新年度(4月)の入所申し込み
＊第1次募集 12月 ＊第2次募集 1月～2月末
- 受付窓口 市役所子育て課 TEL 55-5312
TEL 55-5313

または各支所市民生活課

A 2：幼稚(保)園については

- 新年度(4月)願書受け付け
12月1日～中旬頃まで
- 受付 各幼稚園
- 問い合わせ窓口 市役所子育て課 TEL 55-5312
TEL 55-5313

◆希望の保育所(園)、幼稚(保)園に必ず入れるわけではありません。各保育所等の入所可能人数等がありますので、子育て課にご確認下さい。尚、松江市ホームページにも記載しております。

保育所・幼稚園・小学校のこと

保育所・幼稚園・小学校のこと

サポートファイル「だんだん」でつなぎます

サポートファイル「だんだん」はそれまでの相談の情報をいろいろな相談支援機関につなぐツールです。このファイルは保護者が、相談記録や保育所・幼稚園、小学校等の大切な書類等をファイリングし、母子手帳と一緒に持つておくるものです。

♠いろいろな相談機関に行くと、いつも最初から説明しなければならず大変です。サポートファイル「だんだん」は、このファイルを見てもらうだけで、相手に相談及び支援の経験等をわかってもらえ、子どもに合った一貫した支援に役立ちます。



このサポートファイル「だんだん」をご希望の方は
松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」

TEL 55-5455まで

20

5歳児健康診査について

Q：5歳児健診って何ですか？

A：保護者の方に早い段階で小学校生活をイメージしてもらい、発達上のちょっとしたつまづきなどに気づいたり、子育てや集団生活においての心配ごとについて相談したりする機会になるものです。

Q：いつ 健診があるのですか？

A：子どもが5歳になる年度に、生まれ月の順番に実施していきます。

Q：どんなことをするのですか？

A：①保護者の方に事前に配布されるアンケートにこたえていただきます。
②その結果から希望の方に保健福祉総合センターへ来所していただき、無料でお医者さんや心理士などに発達や子育てについて話を聞いてもらうことができます。

少しだけの就学を見通しながら、是非、健康診査で子どもの成長の確認をしていただき、安心して子育てをしてください。



問い合わせ

実施について 松江市保健センター

TEL 60-8151

相談について 松江市発達・教育相談支援センター TEL 55-5455

21

22

小学校(小学部)就学について

Q: 小学校の就学は、どんな流れですか?
A: 事務的な手続きは次のようにになります。

- 10月 小学校へ入学する子どもの学年簿を作成します。(松江市教育委員会)
- 11月 就学時健康診断を実施します。
○就学する前の健康診断です。
詳しくは24ページをご覧ください。
- 12月末 就学する学校名と入学期日を通知します。
(松江市教育委員会より)
○就学先の学校名と入学期日が通知されます。校区外の学校に入学希望の場合は、校区外通学の申込が必要です。問い合わせは学校教育課学事係 (TEL55-5416) まで。
○県立特別支援学校の場合は、県教育委員会より、1月末までに学校名・入学期日が通知されます。
- 12月初～1月初 児童クラブの申込はこの頃が目安です。
○申込は児童クラブまで。詳細は市教育委員会生涯学習課 (TEL55-5311) まで。
- 2月初 校区外通学の申込はこの頃までが目安です。
- 2月 就学予定の学校で入学説明会を実施します。
- 4月 まちに待った入学式です。



保育所・幼稚園・小学校のこと

小学校(小学部)就学にあたっての「就学時健康診断」について

10月後半から11月頃にかけて、「就学時健康診断」が開催され、10月中旬頃にご案内が届きます。

Q: どうして「就学時健康診断」をするのですか?

A: 大切な子どもを預かる学校が、その子どもの健康状態をあらかじめ知り、入学にあたって環境を整えていくために実施するのです。

- ◆ 内容としては、内科・歯科・眼科・耳鼻科の健診や視力・聴力検査などがあります。
- ◆ 発達の様子を見る「知的発達スクリーニング」については、各保育所(園)、幼稚(保)園で実施します。



就学時健康診断についての問い合わせ

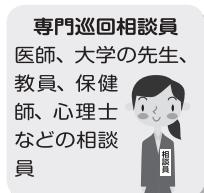
松江市教育委員会学校教育課保健体育係 TEL 55-5428

23

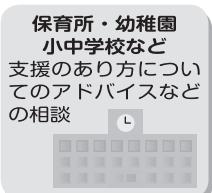
24

発達や行動が気になる子どもの相談について

Q: 子どもの発達や行動で気になることは、どこに相談したらよいのですか?
A: 松江市では、発達や行動面で気になる子どもの相談窓口として、発達・教育相談支援センター「エスコ」があります。
「エスコ」では、専門家による「専門巡回相談」を実施しています。



派遣して巡回相談



保育所・幼稚園・小学校のこと

保育所・幼稚園・小中学校などでの支援のあり方について相談がある場合は気軽にお申し込み下さい。

Q: 就学先についてどこに相談すればいいですか?
A: 「エスコ」では、就学相談も実施しています。就学先で悩んでいる場合は、所属の保育所・幼稚園・小中学校を通して就学相談を申し込みれば、松江市教育相談員が就学についての相談に応じます。

専門巡回相談、就学相談の申込は、所属の保育所・幼稚園・小中学校又は「エスコ」へお問い合わせ下さい。

TEL 55-5455

特別支援学級・特別支援学校について



Q: 特別支援学級とはどんな学級ですか?

A: 特別支援学級は、特別な支援を必要とする児童・生徒一人ひとりの障がいに応じた教育を行う学級です。松江市には、小・中学校に6つの種別(弱視・難聴、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒障がい)の特別支援学級があります。特別支援学級は、指導する内容を子どもに合わせて設定することができ、オーダーメイドの教育を行う学級です。

Q: 特別支援学校とは、どんな学校ですか?

A: さらに発達や障がいに応じてより一層手厚い支援を必要としている子どもたちのためにある学校です。松江市には、以下の県立特別支援学校があります。

学 校 名	障がい種別
盲学校	視覚障がい
松江ろう学校	聴覚障がい
松江養護学校	知的障がい
松江清心養護学校	肢体不自由
松江緑が丘養護学校	病弱

25

26

小学校や中学校にある
通級指導教室とは…



Q：どんな子どもが対象の教室ですか？

A：通常の学級に在籍していて、何らかの個別の支援を必要としている子どものための教室です。

例えば…

ことばがはつきりしない。
「と、と、とけい」のような話し方をする。
友だちと関わりをもとうとしない。
家では話すが、学校では話さない。
できることとできないことに極端に差がある。
集団行動がとりににくい。……など

Q：指導はどのように行われるのですか？

A：下記の通級指導教室へ通っていただくか、もしくは担当者が子どもの在籍している学校へ出かけ、週に一回45分程度指導を行います。在籍している学校の先生と通級指導教室担当者が連携し、適切な指導や支援の内容を考えます。

Q：通級指導教室はどこにあるのですか？

A：松江市内には7つの小・中学校に通級指導教室があります。

※詳しくは通級指導教室までお問い合わせください。(直通電話)	
小学校	母衣小学校 (21-2143)
	中央小学校 (23-6960)
	古志原小学校 (24-3838)
	古江小学校 (36-5068)
中学校	第二中学校 (25-8402)
	第三中学校 (21-2202)
	第四中学校 (24-4200)

*相談先がわからなければ、松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」が総合的な相談窓口になりますので、お気軽にお電話ください。必要な情報をお知らせします。

主な内容など	主な対象				
	乳児	幼児	小中	高校	成人
母子保健のことなら何でも	○	○			
乳幼児のことならなんでも相談	○	○			
教育相談、発達相談、望ましい学習の場の相談、関係機関へのつなぎ	○	○	○	○	○
障がい児等の療育支援 理学療法、心理士による個別療育	○	○	○	○	○
障がい等のある幼児児童生徒の相談支援、判定保護	○	○	○	○	
教育相談 (不登校やいじめ、情緒が不安定等)		○	○	○	
教育相談 (発達や学習、コミュニケーション等)	○	○	○		
医療と連携した教育相談 (不登校や発達障がい等について)	○	○	○		
青少年、保護者等への相談支援		○	○	○	○
障がいのある人の相談、福祉サービスについて	○	○	○	○	○

27

保育所・幼稚園・小学校のこと

IV 相談の窓口について

子どもに関する相談の窓口

窓口機関名	住 所	電話
		FAX
松江市保健センター	松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター1階	60-8151 60-8160
松江市健康福祉部 子育て支援センター	松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター1階	60-8141 60-8160
松江市発達・教育相談支援センター 「エスコ」	松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター3階	55-4013 55-4014
東部島根医療福祉センター 地域支援科	松江市東生馬町15-1	36-5815 36-8992
島根県中央児童相談所 相談支援G、判定保護G	松江市西川津町3090-1	21-3168 21-3163
島根県教育センター 相談セクション	松江市内中原町255-1	22-5862 28-2796
島根県教育センター 特別支援教育セクション	松江市内中原町255-1	22-6466 28-2796
島根県教育センター 「こころ・発達」教育相談室	出雲市下古志町1754-4 神戸川小・河南中若松分校内	0800-200-1556 (0853)31-5561
松江市教育委員会 青少年支援センター	松江市白潟本町43 スティックビル6F	0800-200-2700 20-2852
まつえ障がい者サポートセンター 「絆」	松江市千鳥町70 松江市総合福祉センター	60-0400 21-4001

28

相談の窓口について

相談の窓口について

松江・安来広域連携事業

すくすく！子育て手帳

平成24年3月31日 発行

発行／松江市教育委員会
連絡先／松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」
TEL 690-0045 松江市乃白町 32-2
TEL 55-5455 Fax 55-4014
e-mail esuko@city.matsue.lg.jp

29

サポートファイル

だんだん

Ver.1



松江・安来広域連携事業



いろいろな願いをこめた“サポートファイル「だんだん」”です。

サポートファイル「だんだん」

もくじ

1 サポートファイル「だんだん」について	1
2 サポートファイル「だんだん」の使い方	2
3 プロフィール	3
名前・生年月日・家族や生まれたときからの様子 病気・けがなどについて	
4 通っていたところと受けた支援	6
デイサービス、放課後、保育所(園)、幼稚園、など	
5 相談についての記録(相談のまとめ)	9
6 そだちの記録およびエピソード(思い出の写真も一緒に)	11
7 相談・支援機関一覧	12

付属

母子手帳等を入れる専用袋

名刺、診察券等を入れる専用シート

診断書、証明書、発達検査結果等各書類を入れるクリアファイル

*この他、「個別の指導計画」等支援に必要な情報を随時つづってください。

1. サポートファイル「だんだん」について



① サポートファイル「だんだん」って何？

サポートファイル「だんだん」は、特別な支援を求めるお子さんが、望ましい継続した支援を受けることができるよう、お子さんに聞するいろいろな情報を保護者の方や関係機関が共に記入したり、相談支援を受けた段階で出てくるお子さんの資料を纏めたりするファイルです。生活の場、学びの場は年齢と共に変わっていきますが、このファイルがあれば、新しい場でもできるだけお子さんにあった望ましい環境を作ることができ、お子さんが楽しく生活できるようになります。

② ファイルの内容と使い方

- プロフィール … お子さんのお名前、生年月日、家族、お世話になった担任等を書きましょう。
- そだちの記録 … お子さんの成長記録を書いてみましょう。
- 思い出の写真とコメントファイル … お気に入りの写真、どきどきワクワクしたことじまん話、『楽しいページになるかもしませんね』
- 相談・支援機関一覧 … 気になるがあれば、まずはお電話！
- 相談記録を自分で記入することが困難であれば、相談した相手に記入をお願いしましょう。
- その他
 - * 母子手帳・診察券・名刺入れ … 出かける前に“ない!”って探したことはないですか？ ここに入れておけばもう安心！
 - * クリアファイル … 診断書、証明書、服薬明細書等を入れられるといいですね。
 - * カラーリー切りカード … 見出し用にお使いください。
 - * その他、療育機関、保育所、幼稚園、学校等でもらう個別の教育支援計画や指導プログラムなどを纏めてあると、指導の参考になります。

③ その他

記入についてはファイルに入っています用紙をご覗いていただき、自由にお使いください。

このファイルに関する問い合わせは

広域連携事業事務局

松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」 電話 0862-55-5455

安来市教育委員会・学校教育課 電話 0854-23-3321 まで

このファイルにお子さんの情報が集まると、だれもがこのファイルを見るだけでお子さんにおあった適切で一貫した支援を行うことができ、お子さんの指導に大変役立ちます。

発達相談や教育相談を受ける際には、母子手帳、子ども手帳等と共に持参し関係者に提示しましょう。

大切な個人情報の入ったファイルですので、紛失には十分ご注意ください。

2. サポートファイル「だんだん」の使い方

最初にもらったら・・・

- お子さんの生まれたときからの様子を「3. プロフィール」に記入。(母子手帳を見てみる)
- 所属があれば、「4. 通っていたところ」に所属所や学級名及び担任名等も記入しておく。
- 母子手帳、支援手帳、診断書、投薬内訳等をファイルする。お医者さんや各機関でもらった名刺も名刺入れに入れておく。

毎日ではありませんが・・・

- そだちのこと、とてあきのエピソードなど子どもや作品の写真などを貼ったり、思いついたときに様子を自由に書いたりする。「6. そだちの記録及びエピソード」

お医者さんや相談機関にてかけたら・・・

- 診療、相談ごとに控診し、担当に見てもらう。
(見てもらいたくなければ持参しなくて構わない)
- 最初から説明せず、担当に見てもらいたく質問してもらうことをできる。
- もらったパンフレット等をつづっておく。
- 相談後、相談担当に箇条書きで内容を書いてもらう。(別添「相談のまとめ」記入用紙)
- その後、「5. 相談の記録」にまとめて一覧にしておくとわかりやすい。

保育所(園)、幼稚園、学校には・・・

- 入園、入学面接時、お子さんが新しい環境にスムーズに適応していくために、進学先及び新しい担任に積極的に見てもらいたい。適切な支援をしてくれる。
- 保育所(園)、幼稚園、学校にもらった指導計画や成長の記録、発達検査結果等お子さんに関することをファイルする。
- 連絡帳にてお子さんの大きな成長等の大変な情報をもらったときには、そのページをコピーしてもらうなどしてファイルする。
- 家庭訪問、個人面談等、担任と話をする際に、持ち出して、見てもらったり、記入してもらったりする。

将来的には・・・

- さまざまな支援サービスを受けるときの資料とする。
(たとえば、成人となったときの障がい者年金受給手続き等)

3. プロフィール

年 月 日 記入

ふりがな 名前	(男・女)	愛 称	日頃の呼び方
生年月日	年 月 日 (歳)		
住所	電話 番号		

家族	続柄	名前	生年月日	続柄	名前	生年月日

好きなもの 好きなこと	キャラクター ()	食べ物(飲み物) ()
	-室内遊び-	-室外遊び-

日頃の様子。日常生活で特に気をつけてること、今、気になっていることなど、感じていることがあれば記入しましょう。

生まれたときからの様子

①妊娠中の 健廻状態	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常有り <ul style="list-style-type: none"> ・切迫流産 ・妊娠中毒 ・前置胎盤 ・貧血 ・その他 ()
②出産の 状況	<input type="checkbox"/> 分娩所要時間 (時間) <input type="checkbox"/> 分娩の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・自然分娩 ・細子分娩 ・吸引分娩 ・骨盤位 ・帝王切開 ・微弱陣痛 ・前早産破水 ・その他 ()
③出産時の 状態	<input type="checkbox"/> 出生児体重 () <input type="checkbox"/> 黄疸 (普通) (強) (その他) <input type="checkbox"/> その他気になったこと <ul style="list-style-type: none"> ()
④乳児期 の様子	<input type="checkbox"/> 初のすわり (産) 月 <input type="checkbox"/> 後退り (産) 月 <input type="checkbox"/> 一人で歩く (産) 月 <input type="checkbox"/> 意味のある簡単な言葉が言える。(ご飯を「まんま」等) <input type="checkbox"/> 人見知り (産) 月 <input type="checkbox"/> あった (産) 月 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 人見知り (産) 月 <input type="checkbox"/> あった (産) 月 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 1歳半検診の様子・この頃気になったこと <ul style="list-style-type: none"> ()
⑤幼児期 の様子	<input type="checkbox"/> オムツはとれましたか (はい (産) 月) (いいえ) <input type="checkbox"/> 自分の名前が言えますか (はい (産) 月) (いいえ) <input type="checkbox"/> 食事が一人でできますか <ul style="list-style-type: none"> ・はい (スプーン使用) (素使用) (いいえ) <input type="checkbox"/> 階段の昇降ができますか (はい (産) 月) (いいえ) <input type="checkbox"/> 「わんわん、きた」等の二語文が言えますか <input type="checkbox"/> 一緒に遊ぶ友達がいますか (はい (産) 月) (いいえ) <input type="checkbox"/> 行動について (おとなしい) (普通) (多動) <input type="checkbox"/> 言葉について (よく話す) (あまり話さない) (はっきりしない) <input type="checkbox"/> 3歳児健診の様子やその頃気になったこと <ul style="list-style-type: none"> ()
⑥5歳児健診の様子	<input type="checkbox"/> 有 () A () B () (年 月 付) <input type="checkbox"/> 有 () A () B () (年 月 付) <input type="checkbox"/> 有 () A () B () (年 月 付)

病気・けがについて

○今までの、あるいは現在治療を受けている病気やけが等について記入しましょう。

年 齢	病名・けが	病 院	入院日数・処置等

診断・判定について

○医療等の診断等について記入しましょう。

機 関 名	年・月	診断名・判定内容

所持している手帳

健育手帳 (無) (有) A () B () (年 月 付)
身障手帳 (無) (有) A () B () (年 月 付)
精神福祉手帳 (無) (有) A () B () (年 月 付)

4. 通っていたところと受けた支援

施 設

期間	施設名	担当名	文書
例 H17	デイサービス ○○○○園	○○○○	週3日 作業療法

保育所（園）・幼稚園

小 学 校·小 学 部

中 学 校·中 学 部

年度	学校名・学年等	担任	受けた指導
例 H.○	○ ○ 中学校 1年 3組 学校中等部 年 組	○○○○	リソースルーム (個別の指導)
	中学校 年 組 学校中等部 年 組		
	中学校 年 組 学校中等部 年 組		
	中学校 年 組 学校中等部 年 組		
	中学校 年 組 学校中等部 年 組		

高 等 学 校·高 等 部

年度	学校名・学年等	担任	受託支援
例 H.○	○○○○ 高等学校 普通科 1年 学校高等部 年	○○○○	特になし
	学校 科 年 学校高等部 年		
	学校 科 年 学校高等部 年		
	学校 科 年 学校高等部 年		

5 相談についての記録

相談のまとめ		相談機関の方へ
相談を受けた時、必要に応じて相談機関に内容を記入してもらいましょう。		子どもの様子及び具体的な相談内容や次へないだ場等、今後の支援に必要な情報を記入の上、保護者にお渡しください。
対象児氏名		平成 年 月 日 記入
子どもの様子・これまでの経過・等	<p>.....</p>	
今後の具体的な取り組みについて等	<p>.....</p>	
記入者	所属	職 氏名

6. そだちの記録およびエピソード

子どもに関する支離の場と対象年齢のめやす

0歳～（在宅・保育所）

支援機関名	住 所	電話 FAX	内 容
子育て支援センター 「あいあい」	690- 0045 松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	60-8141 60-8160	子育てなんでも相談
子育て支援センター 「なかよし教室」	690- 0045 松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	60-8141 60-8160	集団によるミニ商道(相談)
市郡連携保健福祉センター 地域支援課	690- 0864 松江市生馬町15-1	36-8011 36-8992	言語療法、作業療法等
障害者福祉課 児童デイサービス	690- 8540 松江市来次町86	55-5241 55-5309	基本的な動作の指導及び 日常生活への適応訓練

3歳～（在宅・保育所・幼稚園）

松江市免選・教育相談支援センター「エスコ」	690-0 0045	松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	55-5455 55-4014	個別及び集団による指導
松江市立母子幼稚園	890- 0883	松江市北田町273	25-5838 25-5838	個別及び集団による指導
松江市立中央幼児園	890- 0902	松江市大正町398	25-5595 25-5595	個別及び集団による指導
松江市立北幼稚園	890- 0871	松江市東風呂町229	61-0580 21-0585	個別及び集団による指導
松江市立幼保園のぎ	690- 0958	松江市田和山町108	60-2605 60-2608	個別及び集団による指導
松江市立こども幼稚園	698- 0401	松江市宍道町宍道458-2	66-7010 66-0060	個別及び集団による指導
松江市立提携幼稚園	699- 0101	松江市東出雲町提携2130	52-5770 52-5672	個別及び集団による指導
東雲保育園提携センター	690- 0864	松江市東生馬町15-1	36-8011 36-8992	言語療法、作業療法等
島根県中央児童相談所 施設課・判定課	690- 0823	松江市西川津町3090-1	21-3168 21-3163	障害等のある児童生徒 相談支援、判定相談

1年生～（小学校・中学校・高校以上）

鳥根県教育センター 相談セクション	090- 0873	松江市内中原町255-1	22-5862 28-2795	教育相談
鳥根県教育センター 特別支援教育セクション	090- 0873	松江市内中原町255-1	22-5466 28-2795	教育相談
鳥根県立中央児童相談所 相談課・児童課	090- 0823	松江市西川津町3090-1	21-3168 21-3163	障害等のある児童生徒

松江市教育委員会 青少年接センター	690- 0081	松江市白瀬町43 スティックビル6F	25-2583 20-2852	青少年、保護者等への 相談支援
松江市立母衣小学校 通級指導教室	690- 0983	松江市北田町273	21-2143 21-2143	通級による個別の指導
松江市立中央小学校 通級指導室	690- 0002	松江市大正町308	23-6960 23-6960	通級による個別の指導
松江市立古江小学校 通級指導教室	690- 0151	松江市古曾志町1759	36-5068 36-5068	通級による個別の指導
松江市立古志原小学校 通級指導室	690- 0012	松江市古志原4丁目6-1	24-3838 24-3838	通級による個別の指導
松江市立第二中学校 通級指導教室	690- 0923	松江市西川津町3402-1	25-8402 25-8402	通級による個別の指導
松江市立葉三中学校 通級指導教室	690- 0061	松江市東朝日町14	21-2202 21-2202	通級による個別の指導
松江市立第四中学校 通級指導室	690- 0017	松江市西津田10丁目20-1	24-4200 24-4200	通級による個別の指導

この他、障がい種別に支援を実施する場があります。先進・教育相談支援センター「エスコ」にてご紹介いたしますので、ご連絡ください。

子どもに関する相談窓口一覧と対象年齢のめやす

0歳～(在宅・保育所)

窓口機関名	住 所	電話	主な相談内容
		FAX	
松江市保健センター	690-0045 松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	60-8151	発達健康相談
		60-8160	
東部島根医療福祉センター 地域支援科	690-0864 松江市東生馬町15-1	36-8011	障がい児等療育支援 言語療法、作業療法
		36-8992	
松江市健康福祉部 子育て支援センター	690-0045 松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	60-8141	乳幼児のことならなんでも相談
		60-8160	

3歳～(在宅・保育所・幼稚園)

松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」 ほっと相談	690-0045 松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	55-5455	教育相談、望ましい学習の場の相談、関係機関へのつなぎ
		55-4014	
東部島根医療福祉センター 地域支援科	690-0864 松江市東生馬町15-1	36-8011	障がい児等療育支援 言語療法、作業療法
		36-8992	
島根県中央児童相談所 相談支援、判定保護	690-0823 松江市西川津町3090-1	21-3168	障害等のある児童生徒相談支援、判定保護
		21-3163	

1年生～(小学校・中学校)

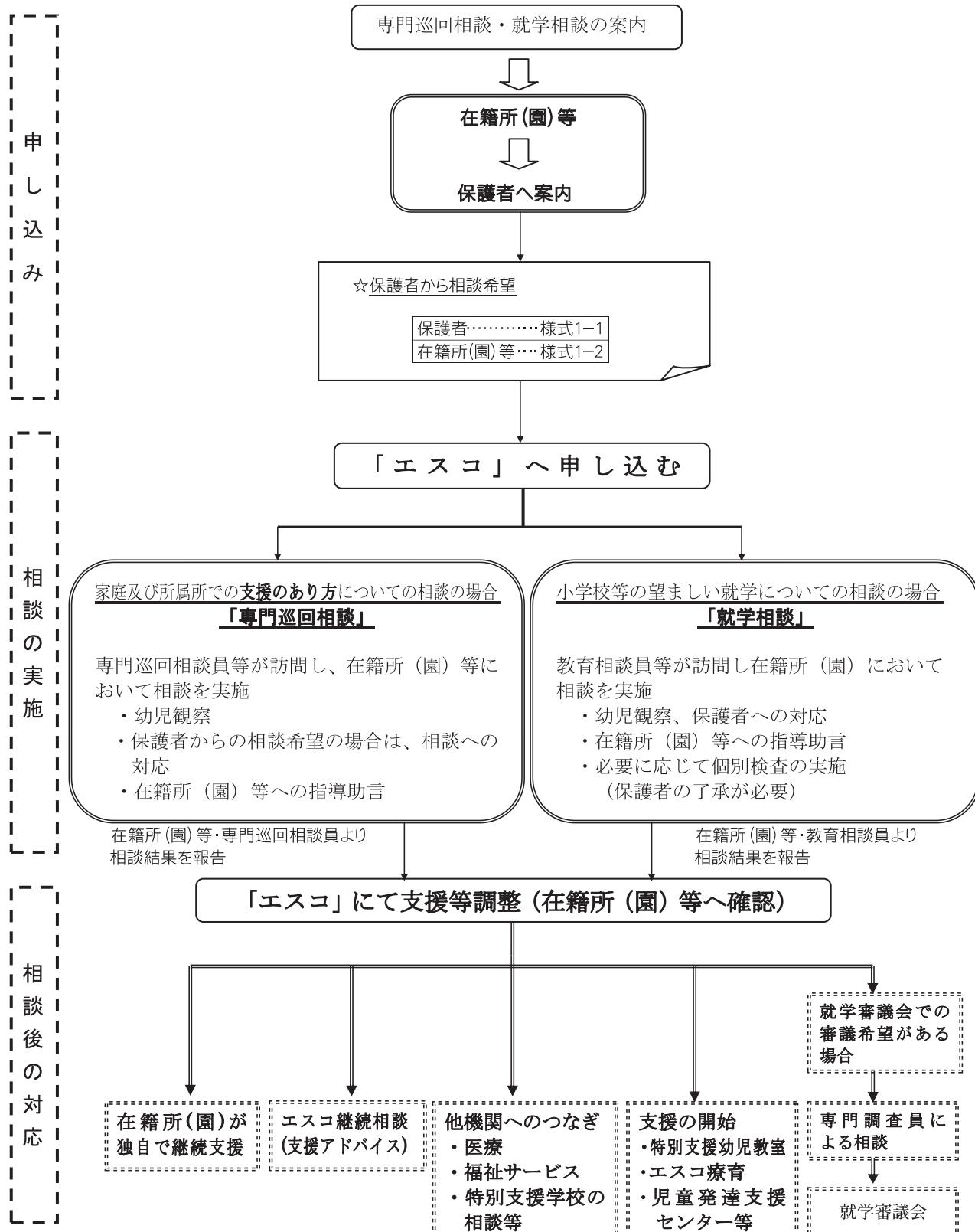
松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」	690-0045 松江市乃白町32-2 松江市保健福祉総合センター	55-5455	教育相談、望ましい学習の場の相談、関係機関へのつなぎ
		55-4014	
島根県教育センター 相談セクション	690-0873 松江市内中原町255-1	22-5862	教育相談
		28-2796	
島根県教育センター 特別支援教育セクション	690-0873 松江市内中原町255-1	22-6466	教育相談
		28-2796	
島根県教育センター “こころ・発達”教育相談室	693-0032 出雲市下古志町1574-4 出雲市立河南中学校若松分校	0853-31-5561	こころ・発達教育相談
		0853-31-5561	
島根県中央児童相談所 相談支援、判定保護	690-0823 松江市西川津町3090-1	21-3168	障害等のある児童生徒相談支援、判定保護
		21-3163	
松江市教育委員会 青少年支援センター	690-0061 松江市白瀬本町43 スティックビル6F	25-2583	青少年、保護者等への相談支援
		20-2852	

*相談先がわからなければ、松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」が総合的な相談窓口になりますので、お気軽にお電話ください。必要な情報をお知らせいたします。

(6) 就学及び相談の流れ

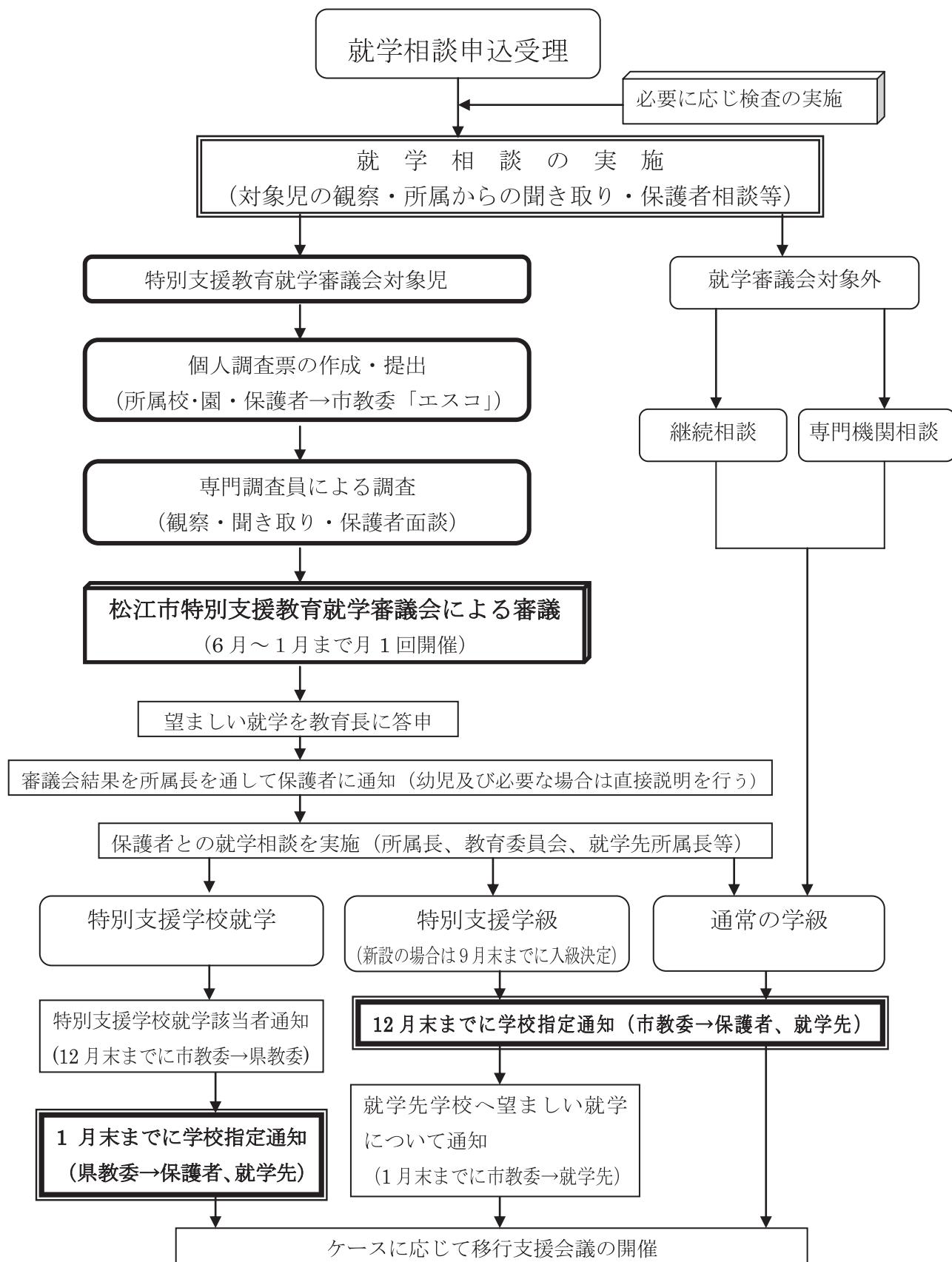
保育所・幼稚園等における「専門巡回相談」・「就学相談」の流れ

発達・教育相談支援センター「エスコ」



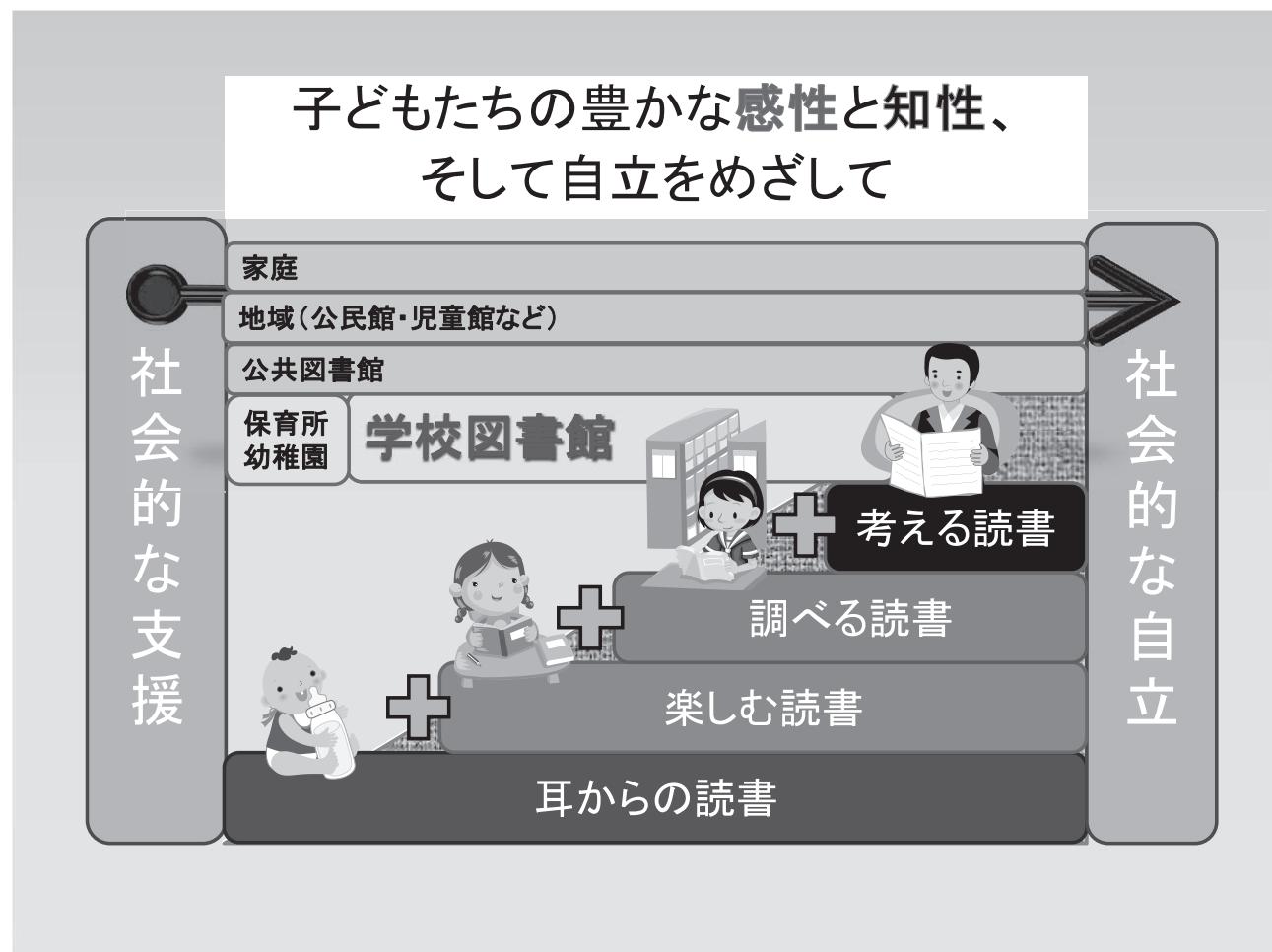
松江市における特別支援教育の相談から就学指導の流れ

松江市教育委員会
発達・教育相談支援センター「エスコ」



(7) 図書館活用事業

発達段階と子どもの読書



松江市の図書館活用教育

学校図書館の活用をきっかけに、

子どもたちの“伝え合う力”を育てます。

～ ことば豊かに 意欲的に学びあう 子どもたちのために ～



つなぐ
学校図書館
支援センター

伝え合う力
子どもたち
小学校・中学校の
学校生活



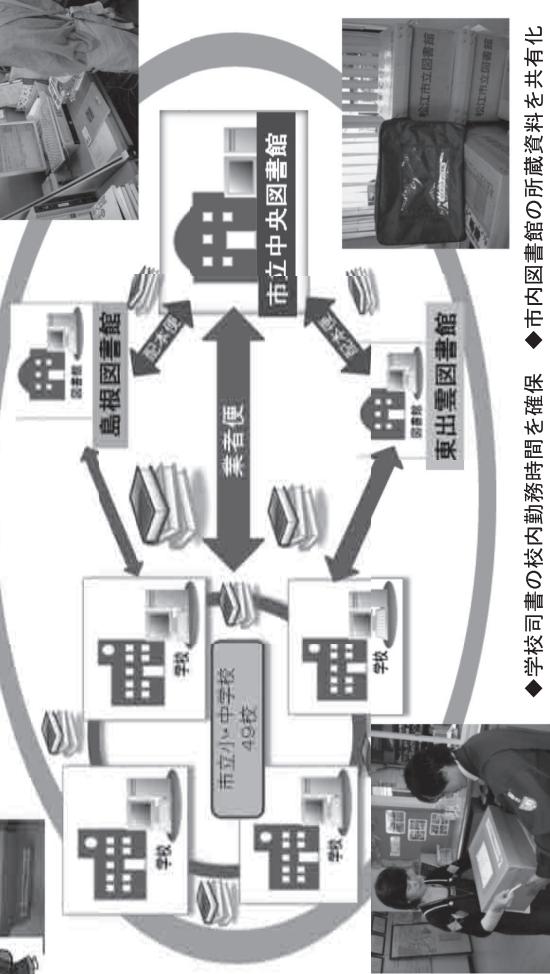
松江市学校図書館支援センター



情報源でつながる

物流ネットワークシステム

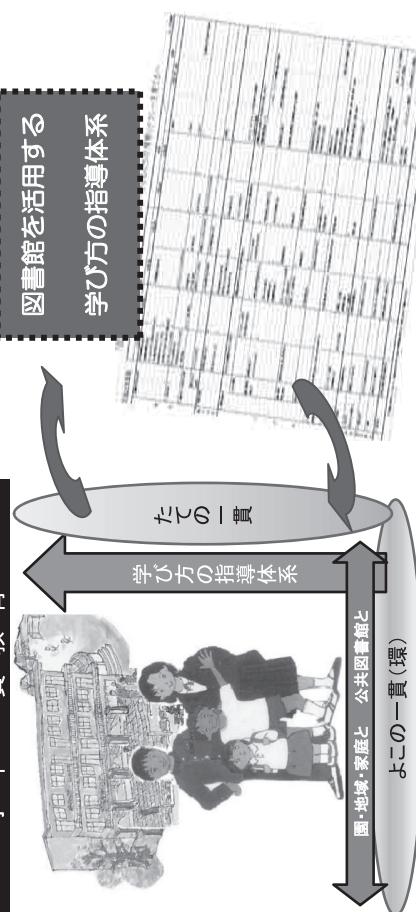
松江市立小・中学校と市立図書館、そして、学校間での貸出が可能に



◆学校司書の校内勤務時間を確保 ◆市内図書館の所蔵資料を共有化

小中一貫教育

図書館を活用する
学び方の指導体系



松江市学校図書館支援センター

松江市教育委員会学校教育課
〒690-8540 島根県松江市宍道町36番地
TEL : 0852-55-5073 FAX : 0852-55-5251



◆子どもたちと ワクワクする学び方 をつなぎます！

◆教職員と 学校司書の専門性 をつなぎます！

◆学校と そこで役立つ資料・情報 をつなぎます！

子どもたちが「わくわく」しながら、ことば豊かに、意欲的に学びあう姿は、新しい学習指導要領に示された「生きる力」の中核である「学ぶ力」につながると言えています。そのために、学校図書館は「読書センター」と「学習・情報センター」の両機能が「バランスよく充実」することが必要となります。そこで、松江市では「読書センター」として充実してきたこれまでの取組みを続けながら、「学習・情報センター」機能の充実を重点として全市に啓発していくことにしました。そこで、学校図書館支援センターは「つなぐ」をキーワードに取り組みます。

？が！に変わる 子どもとの学び

を育てる情報リテラシー



小・中学校で つながる 学校図書館の活用から始まる 学びの方指導

- 図書館担当、教職員がつながる
- 子どもたちがつながる

- 教科を超えてつながる
- 教科と情報リテラシーがつながる

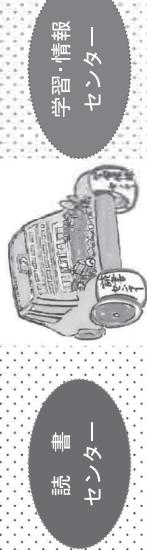
- 資料・情報でつながる
- 資料がつながる



小・中学校でつながる

学校図書館の活用は、読書センター機能 で

「学習・情報センター機能 の バランス が大切！」



伝えあう 感じる

考える

を育てる情報リテラシー

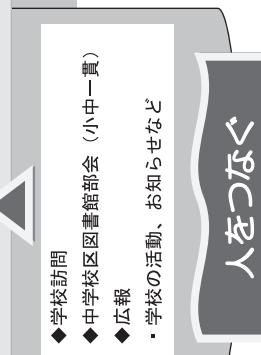
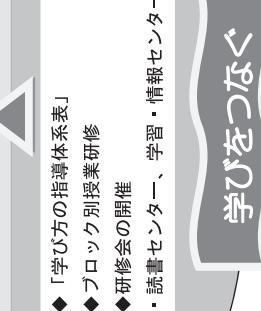


小・中学校で つながる 学びの方指導

- ◆学校訪問
- ◆中学校区図書館部会（小中一貫）
- ◆広報
- ◆学校の活動、お知らせなど

- ◆「学びの方の指導体系表」
- ◆プロック別授業研修
- ◆研修会の開催
- ◆研修会、学習・情報センター機能強化

- ◆物流システム（蔵書等相互活用）
- ◆学校校務用ネットワーク
- ・データベース、広報、Web
- ◆学校司書配置率 100%



学校図書館支援センター

(8) 親学紹介

親学 プログラム

「親学プログラム」って何？

松江市が派遣する親学ファシリテーター（※1）の進行で行われる参加型学習（※2）です。参加者が互いに交流しながら、親としての役割や子どもとのかかわり方について、気づいていくことをねらいとする学習プログラムです。

（※1）親学プログラムを進行する技能をもった進行役です。

（※2）プログラムに参加することで自らが気づき考えることを重視する学習方法のことです。



どんなところで活用できるの？

- 保育所（園）・幼稚園の保護者会
- 子育てサークルの学習会
- 小・中学校のPTA研修会や学級懇談会
- 公民館等での家庭教育学級や研修会 など

子育てについて、楽しく語り合うことができます！



あまり話すことのない
保護者と（学習の中で）
握手したり、一緒に絵を
かいたりと、ドキドキし
つつも楽しく過ごすこ
とができました。

皆さんとお話をしても、同じよう
な悩みを持っているというこ
とがわかっただけでもすごく
心強く思いました。
子どもとの接し方を改めて見
つめ直す貴重な時間でした。

ただ話を聞くだけでは
なく、自ら体験するので、
とても楽しかったです。



親学に関するご相談・お問い合わせ 松江市教育委員会 生涯学習課
☎ 0852-55-5656

7種類のテーマと26のプログラム

7種類のテーマごとにプログラムを用意しています。どのプログラムを利用するかは、学習内容、標準時間、参加者の状況に応じて、選択してください。

テーマ	プログラム名	時間	ワークショップの手法	学習のねらい
1 親としての心構え	① 新米ママ・パパへのメッセージ	90	ビデオフォーラム	親としての自分(親になる自分)を見つめ、親としての心構えを具体的に考える。
	② あなたならどうする？	60	インタビュー	子育てに関する問い合わせに対して自分ならどうするかを考え、様々な価値観にふれることにより、よりよい子育てに気づく。
	③ 子どもに示したい大人のふるまい	50	カードワーク	大人としてのふるまいを考えることによって自分の姿を振り返り、子どもとともに自分自身も親として成長していくという気持ちを培养する。
	④ 素晴らしき思春期	75	ビデオフォーラム	思春期の子どもたちの特徴を理解し、親として思春期の子どもたちと向き合う心構えを考える。
2 親子ミニーション	① 聞く耳ってどんな耳？	50	シミュレーション	話し手と聞き手双方の受け止め方や感じ方の違いを体験することにより、自分自身の聞き方を振り返るとともに、子どもの思いを受け止める聞き方に気づく。
	② 子どもに伝えるのって難しい！	60	シミュレーション	聞く側の受け止め方や感じ方の違いについて体感し、自分自身の子どもへの話し方・接し方をふり返る。
	③ 私のほめ方・しかり方	60	ロールプレイ	子どもに対するほめ方・しかり方について役割演技をしたり、話し合ったりすることを通して、場や状況に適したよりよい伝え方について考える。
	④ 心に響く伝え方	60	ロールプレイ	子どもへの思いの伝え方について役割演技をしたり、話し合ったりすることを通して、場や状況に適したよりよい伝え方について考える。
3 生活リズム	① 目指せ！早寝・早起き・朝ご飯	80	ラベルワーク	「早寝・早起き・朝ご飯」を家庭で実行するために、必要なことを考える。
	② 朝食は目覚めのスイッチ	60	ラベルワーク	朝食をとることの大切さを知り、家庭で実施するために必要なことを考える。
4 しつけとルール	① 親のしつけは子どもへの大切な贈り物	60	カードワーク	日頃のしつけについてふり返るとともに、しつけをしていく上での大切なポイントについて考える。
	② 我が家のルールづくり大作戦	75	ラベルワーク	家庭や社会のルール・マナーについて考え、日常生活をふり返る中で、「我が家のルール」を作成する。
	③ しかる基準は？	60	ランキング	時と場合に応じた子どもへのしかり方・かかわり方を考えることにより、社会のルールを教えるためのしかる基準について考える。
	④ 誰が決めるの？	50	ランキング	子どもの活動や持ち物、家庭でのルールなどの決め方をふり返ることにより、親として適切なかかわり方をしようとする意識を高める。
	⑤ 子どもにとってのお手伝い	50	ランキング	手伝いについてお互いの考え方を話し合うことで、手伝いの役割や意義について考える。
	⑥ 子どもに本当に必要ですか？	60	ランキング	子どもにとって必要なものかどうかを話し合うことで、様々な価値観にふれ、子どもにものを与える時、親としてどのようなことに配慮すべきかを考える。
	⑦ 家庭学習の習慣をつけるために	60	ラベルワーク	家庭学習の習慣化についてのポイントや工夫を考えることによって、子どもが進んで学習するために親としてできることに気づく。
	⑧ ケータイ・インターネットとのつきあい方	70	ラベルワーク	子どもたちが携帯電話・インターネットを利用して考えられる不安や悩み、問題点を話し合い、家庭で取り組めることを考える。
5 安全と健康	① 身近なところに危険がいっぱい	50	ピクチャーワーク	身近な生活の中に潜む危険に気づき、子どもの安全に関する意識を高める。
	② 危険個所を考えよう	60	ランキング	身近な危険個所に目を向け、子どもと一緒に危険について考えることができるよう、親の危険意識を高める。
	③ 食生活を見直そう	50	レーダーチャート	子どもの食を取り巻く様々な課題について考え、家庭の食生活を見直すきっかけとする。
6 遊びと体験	① あそびのススメ	70	ラベルワーク	子どもの頃に遊んだ経験について話し合うことによって、遊びを通して体験が子どもの成長に豊かさをもたらすことに気づく。
	② 子どもにさせたい体験は？	50	ランキング	体験に含まれる様々な価値について話し合い、子どもの成長にどんな体験が必要かを考える。
7 個性と夢	① もし、子どもが〇〇で育ったら	60	カードワーク	自分の考えを話したり、他の人の考えを聞いたりすることにより、子どもの個性や夢を大切にした子育てについて考える。
	② こんな子どもに育ってほしい	60	ランキング	こんな子どもに育ってほしいという思いを語り合うことで、様々な価値観にふれ、望ましい子育てについて考える。
	③ わが子のPR～短所も長所～	70	アサーティブトレーニング	子どものよいところを認め、PRすることを通して、子どもを肯定する気持ちを育てる。

「松江市保幼小接続カリキュラム」委員名簿

◆保幼小中連携推進委員会	
氏名	所属等
山下由紀恵	島根県立大学短期大学部松江キャンパス副学長 教授 *委員長
安達信二	松江市保育所園保護者会連合会代表
小川純司	松江市幼稚園PTA連合会代表秋鹿幼稚園PTA会長
永井嘉代子	松江市PTA連合会小中学校代表 副会長
大島乃理子	松江市保育研究会代表 社会福祉法人乃木保育所長
小林裕子	公立保育所長会代表 松江市立白潟保育所長
山尾淳子	幼稚園長会代表松江市立しんじ保育園長
塩田律子	小学校長会代表 松江市立宍道小学校長
園山信夫	中学校長会代表 松江市立湖南中学校長
古川康徳	松江市教育委員会 副教育長 (小中一貫教育推進本部長)
岩田光弘	松江市健康福祉部 子育て課長
藤原尚幸	松江市総務部 人権施策推進課 教育指導監
岩田靖	松江市教育委員会 学校教育課長
小田川俊明	〃 生徒指導推進室長
河井克典	〃 発達・教育相談支援センター所長

◆カリキュラム作成作業部会		◆担当
末次恵子	社会福祉法人松尾保育所主任	第二章
竹谷正美	松江市立末次保育所主幹	〃
川上志真	松江市立城東保育所保育士	〃
遠所澄子	松江市立津田幼稚園教頭	〃
峯谷玲子	松江市立古江幼稚園教諭	〃
持田万規子	松江市立しんじ保育園教諭	〃
熱田哲也	松江市立法吉小学校教頭	〃
石原可奈恵	松江市立大野小学校教諭	〃
小林正美	松江市立八雲小学校教諭	〃
吉野晃子	松江市立古志原小学校教諭	〃 第三章
森脇久美子	松江市立出雲郷小学校教諭	〃
後藤真澄	松江市立玉湯小学校教諭	〃

松江市教育委員会 事務局		
福島稔夫	教育委員会 学校教育課	小中一貫教育推進係長 (担当)
秦昌子	健康福祉部 子育て課	指導主事
安達和美	〃 〃	保育専門指導員
前田真利	教育委員会 学校教育課	指導研修係長
伊藤紀子	〃 〃	メディア対策 教育指導講師
井筒泰世	〃 〃	保健体育係長
岸本行夫	〃 生徒指導推進室	指導主事
飯塚由紀子	〃 〃	指導主事
金山由美子	〃 発達・教育相談支援センター	指導主事
松丘加奈	〃 〃	指導主事
道前正	〃 〃	指導主事
吉田裕三	総務部 人権施策推進課	教育指導講師
伊藤眞弓	健康福祉部 保健センター	
横野吉人	教育委員会 学校教育課	小中一貫教育推進係 社会教育主事
後藤智子	〃 〃	主任
吉迫哲哉	〃 〃	教育指導講師